



平成26年度野洲市総合計画外部評価委員会  
ヒアリング資料

事業通番 6

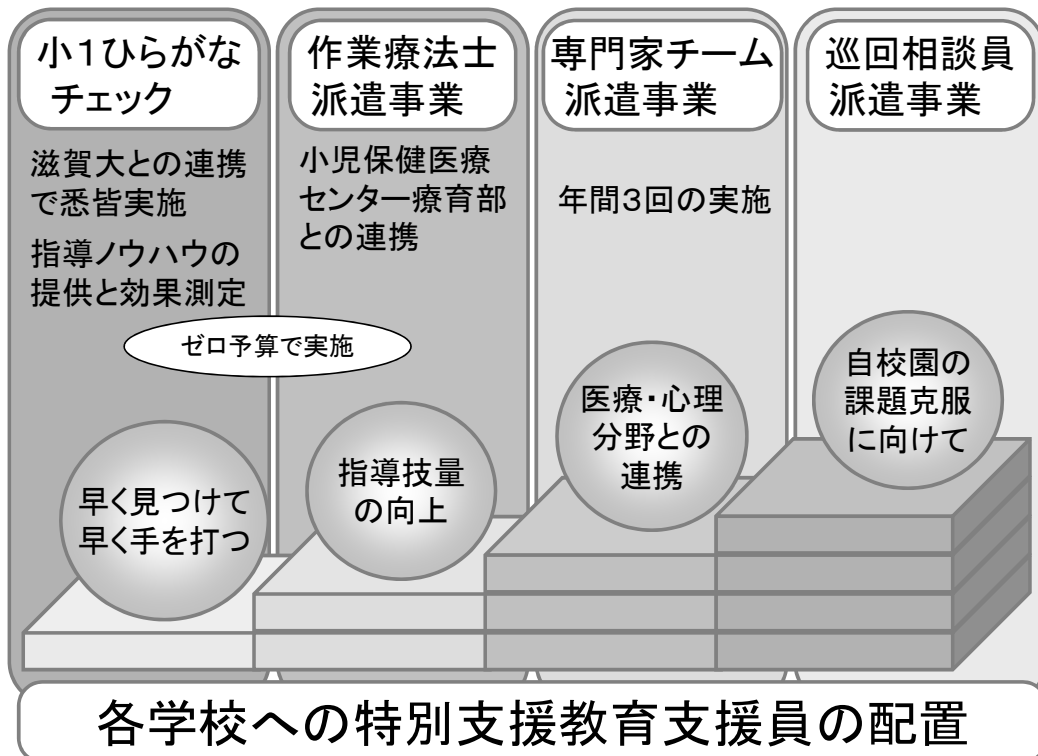
学校教育の充実を図るための支援体制の整備

特別支援教育の充実と生徒指導の充実

教育委員会事務局  
学校教育課・ふれあい教育相談センター

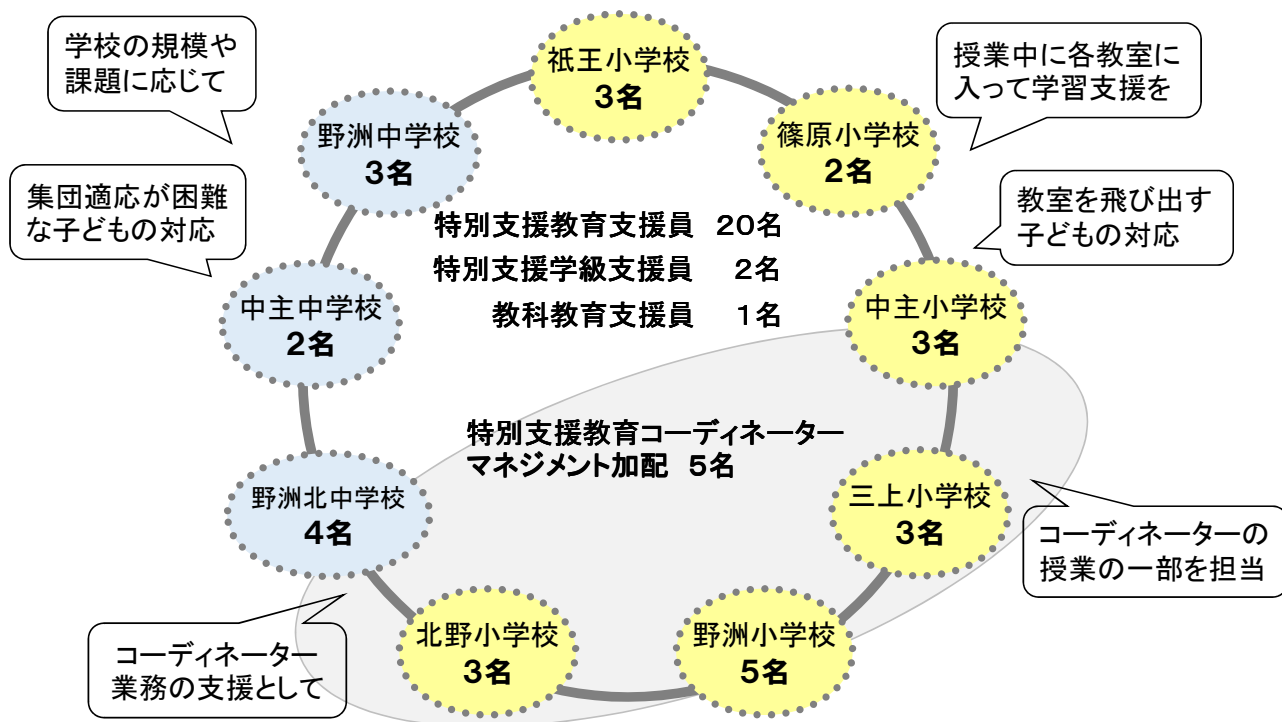


特別支援教育の充実を図るための学校支援体制

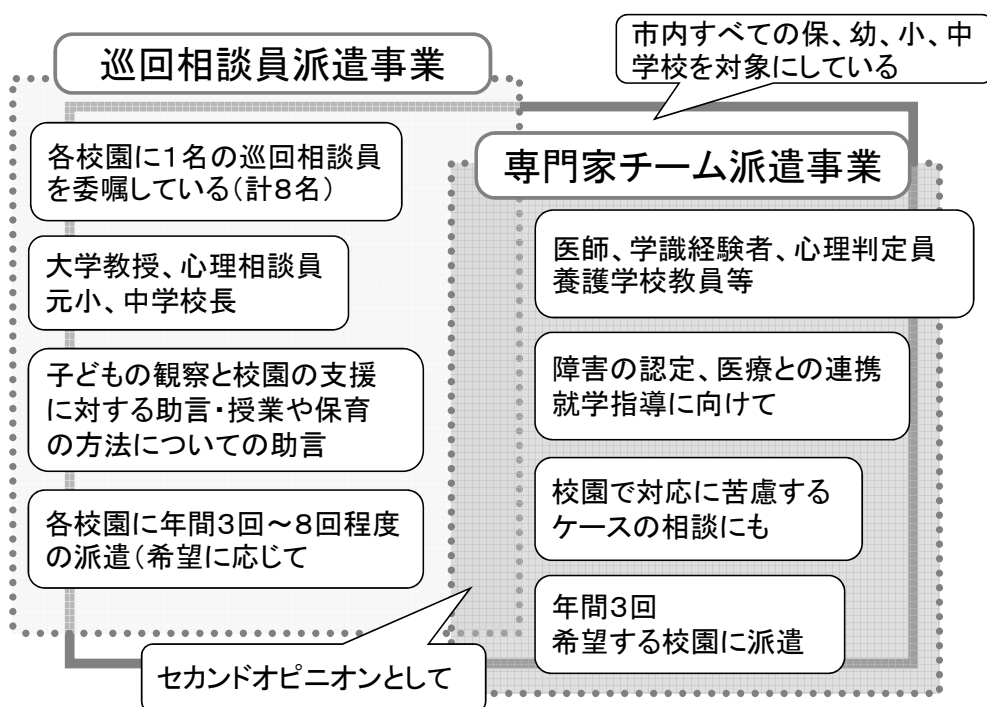




## 小、中学校への特別支援教育支援員の配置



## 巡回相談員派遣事業と専門家チーム派遣事業



# 【不登校への対応】

## 過去、最も高かった不登校在籍率(%)

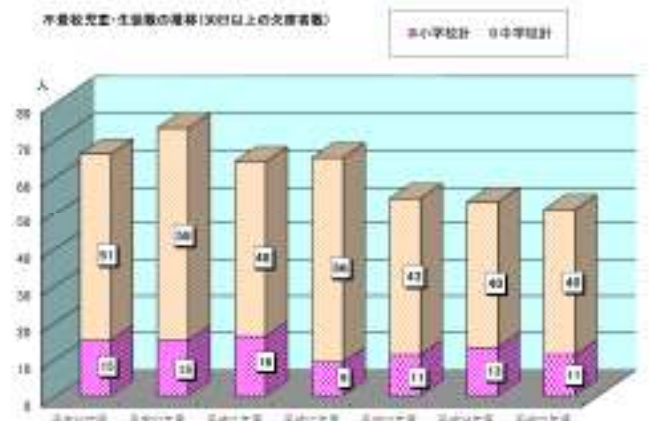
小学校・・・平成21年度 16人 0.52%

中学校・・・平成20年度 58人 4.30%

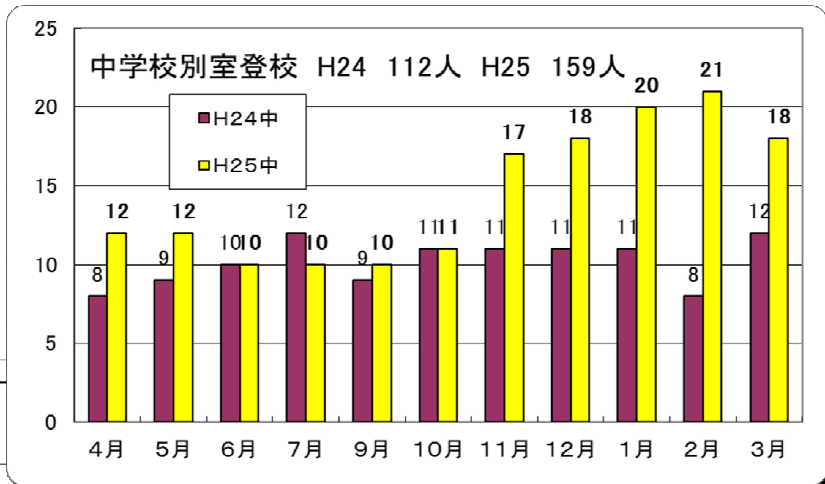
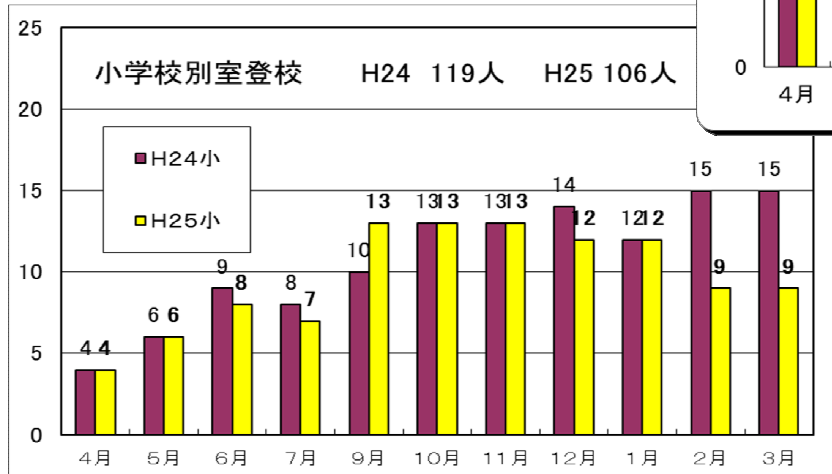
## 【年間30日以上の欠席者数】

学校名	平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	全児童・生徒数	不登校数	比率(%)	全児童・生徒数	不登校数	比率(%)	全児童・生徒数	不登校数	比率(%)	全児童・生徒数	不登校数	比率(%)
	(G)	(H)	(H/G*100)	(I)	(J)	(J/I*100)	(K)	(L)	(L/K*100)	(K)	(L)	(L/K*100)
野洲市小学校	3,037	9	0.30	3,065	11	0.36	3,040	13	0.43	3,035	11	0.36
滋賀県小学校	86,034	373	0.43	85,214	346	0.41	84,055	388	0.46	83,527	353	0.42
野洲市中学校	1,364	56	4.11	1,412	43	3.05	1,436	40	2.79	1,437	40	2.78
滋賀県中学校	40,274	1,150	2.86	41,019	1,115	2.72	41,274	1,104	2.67	41,219	1,084	2.63

## 小・中学校不登校児童生徒数の推移



# <H24・H25年度> 小中別/月別 別室登校人数



**<年間>延べ100人以上が  
教室復帰に向けての別室登校**

## 心のオアシス相談員

- ・派遣人数 中学校・・・3名 小学校・・・3名
- ・業務内容 教室を巡回、子どもの様子を把握  
子どもや保護者の相談相手  
別室登校の子どもとの交流・学習  
卒業生への家庭訪問  
担任・SCとの打ち合わせ 等々

## 内容別相談のべ人数

その他, 122, 14%

いじめ, 2, 0%

友人, 90, 10%

学業, 92, 10%

進路, 29, 3%

性格, 25, 3%

家族, 12, 1%

不登校, 523, 59%

- 友人
- 学業
- 部活
- 進路
- 性格
- 家族
- 不登校
- いじめ

## ある中3生男子生徒の関わりから・・・

### Aくんのケース

- ・ 5月、不登校傾向であるため、家庭訪問を実施する。
- ・ 起立性調節障がいと診断され、頭痛・発熱の欠席が多く、午前中は起きられないため、家庭訪問の際、話をしたり学習支援を行なった。
- ・ 夏休みより昼夜逆転となり、夜眠れず、9月より完全不登校となった。
- ・ 12月より進路を意識しだし、別室登校ができるようになった。
- ・ 2月より毎日登校し、給食を食べ下校する生活リズムができた。昼夜逆転生活も改善され、学習教材を中心に勉強した。
- ・ 3月より別室登校から教室復帰でき、卒業式の練習にも参加できた。
- ・ 現在、定時制高等学校に元気に通学している。

## 支援員の記録から・・・

- 授業の見守りや給食を一緒に食べることで、声かけできる児童が増え、子どもとの人間関係ができた。(小学校)
- 中学生は学業や友人関係の悩みや不安を抱いている。中学3年生になると、進路相談が増えてきた。(中学校)
- 子どもが複数で関わると、個々のテンションがあがり、課題に取り組めないため、個別対応が重要である。

### 【野洲市の不登校対策】

□心のオアシス相談員→ 年々、派遣人数を拡充

緊急雇用対策・・・H23年度～H25年度→ H26年度打ち切り

□いじめ対策支援員 12名

□教育相談支援員 9名



多くの支援員・相談員の関わりによって、厚みのある支援となり不登校が減った。裏をかえせば、個別対応が図られ、別室登校が充実した。



人(数)は力なり →

### 【これからの学校に必要な人材は・・・】

野洲市専属のスクールソーシャルワーカー(SSW)

・福祉的な視点を学校に取り入れ学校の環境調整を図る  
コーディネーター

・学校と保護者と市関係機関とをつなぐ架け橋の役割

# ふれあい教育相談センター

子どもたちの豊かな学びを保障するため、ことばやいじめをはじめとする教育に関する相談や不登校にある児童生徒の学校復帰の支援の場として、子どもの心身の自立を促し、健全育成を図る。

## こころの教育相談

体制: カウンセラー4名 週5日間

業務内容: 子どもの教育上の様々な悩み(不登校、いじめ、学校生活など)について、その解決に向けた専門相談(来所・電話)を実施し、本人・保護者などへの支援を行う。

☆子どもや保護者の相談

☆子どものプレイセラピー

☆学校や関係機関などとの連携(コンサルテーション)など

## ことばの教室

体制: 指導員2名 週5日間

業務内容: 子ども(幼児や特別支援学校在籍児童)の発音やことばの遅れなど、課題に応じた相談と適切な指導を行い、健やかな育ちを支援する。

## 適応指導教室

体制: 指導員2名 メンタルフレンド2名 週5日間

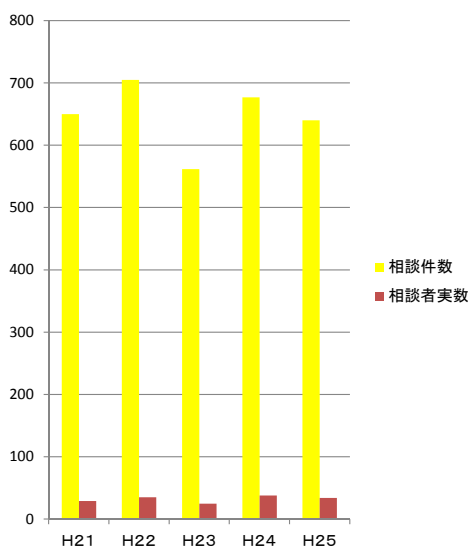
業務内容: 適応指導教室「ドリーム教室」を開設し、不登校にある子どもたちが心身の元気を取り戻し、心の居場所としてグループや個別で、一人ひとりの応じた学習等の支援を行う。

☆集団活動、個別活動、体験活動

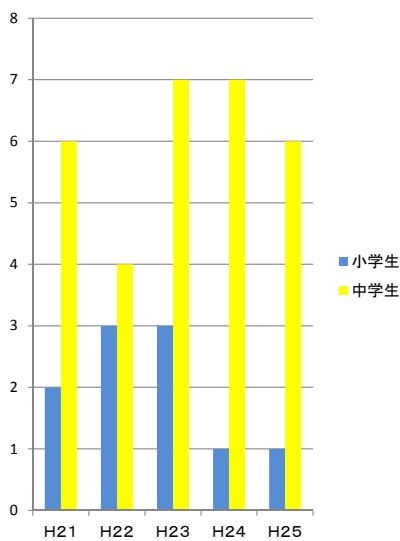
☆子どもと保護者の相談

☆学校や関係機関などとの連携 など

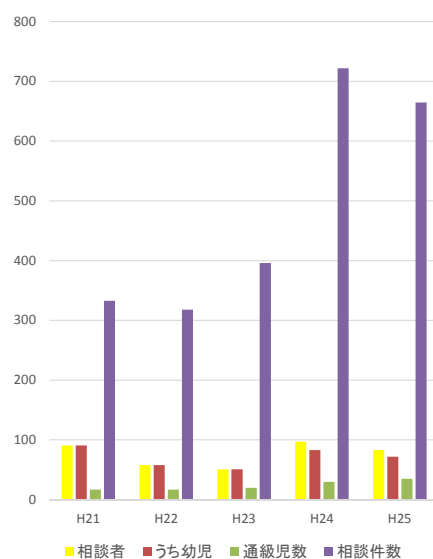
こころの教育相談相談件数の推移



適応指導教室(ドリーム教室)通室生の推移



ことばの教室(相談・指導)人数の推移



## 【これからのセンターでは・・・】

- ・不登校、発達課題等の早期発見、早期支援のためにセンター所属の専門職の力を発揮できるようなシステムづくり。
- ・センター所属の専門職のスキルアップを図り、学校・園や関係機関との連携をさらに推進していく。